

# COMMORE LIFESTYLE CATALOG #3

Buddy ・ Garden ・ Hobby ・ Scenery ・ Others

「今日のテーマは「La vie en rose」 バラに魅せられた方々による庭の紹介です」

5月に入って緑道や庭先に色とりどりの花が咲き競う季節になりましたね。コモアは庭仕事の好きな住民が多いので、家々の庭は花が咲き乱れてとても鮮やかです。そんな中でもやはり一番力が入っているのはバラが好きな皆さんでしょう。バラには立ち性のハイブリッドティーやフロリバンダ、つる性のクライミング、半自立のシュラブなどがあり、さらに花の大きさ、花びらの枚数、色、巻きの形などで細かく分類されています。中でもマニアが憧れるのは気品があって鮮やかな立ち性でしょうか。コモアにも立ち性を育てているお庭がたくさんありますが、開花の時期が幾らか遅いためか4月末時点では咲きそろった庭は見かけませんでした。そこで今回は「La vie en rose Partie 1」として、開花が早めですでに多くの庭で満開になっているつるバラの一種モッコウバラのスナップショットを特集します。

モッコウバラを植えている多くの住宅ではフェンスやアーチに絡ませて、目隠しやゲートに利用されているようです。そんな代表がこちらの3軒です。いずれも地面から2Mほどまで立ち上がり、厚みもあって花数も豊富なため、圧倒的なボリュームです。春を待ちわびた眼と心に黄色が鮮やかです。



鮮やかな黄色に元気を貰えます

一方、こちらのお宅では1階の窓の目隠しから更に上に伸びて2階の軒まで5M近くを這い上がっています。1本の株でこのボリュームまで育つ成長力の強さに驚かされますし、シュートの長さが半端ではありません。



シュートが3Mほどあって見事です

さて、モッコウバラというと八重の黄花というイメージで、コモアでも主流ですが、何軒かのお宅では白花が植えられています。こちらのお宅は八重の白花で、道路との境のフェンスに絡んでいました。鮮やかで元気を貰える黄花とは趣が異なり、白花はどことなく気品があり、香りが強いのが特徴です。撮影時にも良い香りを楽しむことができました。



元気な黄色に比べて白花は上品な印象です

このカタログがお手元に届く頃には、いよいよ立ち性やシュラブのバラが見頃になっているでしょう。皆さん、カメラを持ってバラの花探しのお散歩に出かけましょう！

コモア ライフスタイル カタログは、仲間・庭・趣味・風景・その他のコモアしおつ住民の共通する話題をピックアップすることで、住民間の意見交換を活性化し、魅力的な街を再生することを目指すツールです。年数回不定期に発行し、コモア内に掲示・回覧すると共に、ウェブへのアップを行います。ご興味のある方、ご意見のある方は街並み保全実行委員会編集担当[clsc.editorial@gmail.com]までお知らせください。